

## 背景・現状と課題

Co-ベネフィット：ひとつの活動が様々な利益につながっていく

- ✓大阪都市近郊にありながら、山と海が近く、浅瀬や干潟等の豊かな自然が残されたまち。
- ✓高度経済成長期以降に開発された住宅地で人口が増加。今後急速に少子・高齢化が進む。  
【令和4年3月末時点】  
人口51,943人、高齢化率33.9%
- ▶**持続可能な地域社会を形成していくためには、地域資源を活かした経済循環が必要。**



## 取組概要

お茶とアマモから始まるカーボンニュートラル！  
「はんなん・Co-ベネフィット」創出プロジェクト

## 事業の目的

カーボンニュートラルを起点とした**自然（里山・里海）と人が共生する持続可能なまちの実現**

## これまでの取組

- ✓環境省ローカルSDGs（地域循環共生圏）実践地域等に登録
- ✓ブルーカーボンオフセット事業
- ▶**2022年度SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定**



### 事業内容（1）

#### 陸と海からカーボンニュートラルを実現

- ①遊休農地をお茶畑に転換しグリーンカーボンを推進
- ②アマモ場（漁場）再生によるブルーカーボンの推進
- ③環境教育推進の拠点整備



### 企業に求めるもの

- ✓企業版ふるさと納税（人材派遣型含む）による支援
- ✓（仮称）はんなんCo-ベネフィット創出協議会への加入、共創
- ✓テレワークステーション・サテライトオフィスの利用
- ✓阪南市にサテライトオフィスを設置
- ✓地元企業・市民との交流・連携
- ✓大阪・関西万博 TEAM EXPOでの共創

### 企業のメリット

- 効果1 地域資源などを活かした**新規事業の展開等**
- 効果2 **SDGs・社会貢献企業としてのPR**  
（市長贈呈式、HPや広報誌、阪南TVで紹介）
- 効果3 里山・里海にふれあう**多様な働き方**の推進
- 効果4 企業版ふるさと納税を活用した事業で**税負担が軽減**

### 事業内容（2）Co-ベネフィット創出により、新たな消費や交流人口を拡大

- ①お茶の栽培や漁場の再生にあわせ、新たな地域ブランドを確立
- ②陸や海で体験型コト消費の機会を拡大し阪南ファンを拡大
- ③普及啓発の推進プラットフォームの構築

### 事業内容（3）阪南に集まる人々のゆとりある時間（生活）を創出

- ①「お茶のある暮らし」をキーワードにした市民の健康づくりを推進
- ②漁場の再生や体験型コト消費の拡大等を通じた新たな雇用の創出
- ③ゆとりある時間（生活）の実現に向けた、テレワークステーション、サテライトオフィスなどサードプレイスの整備